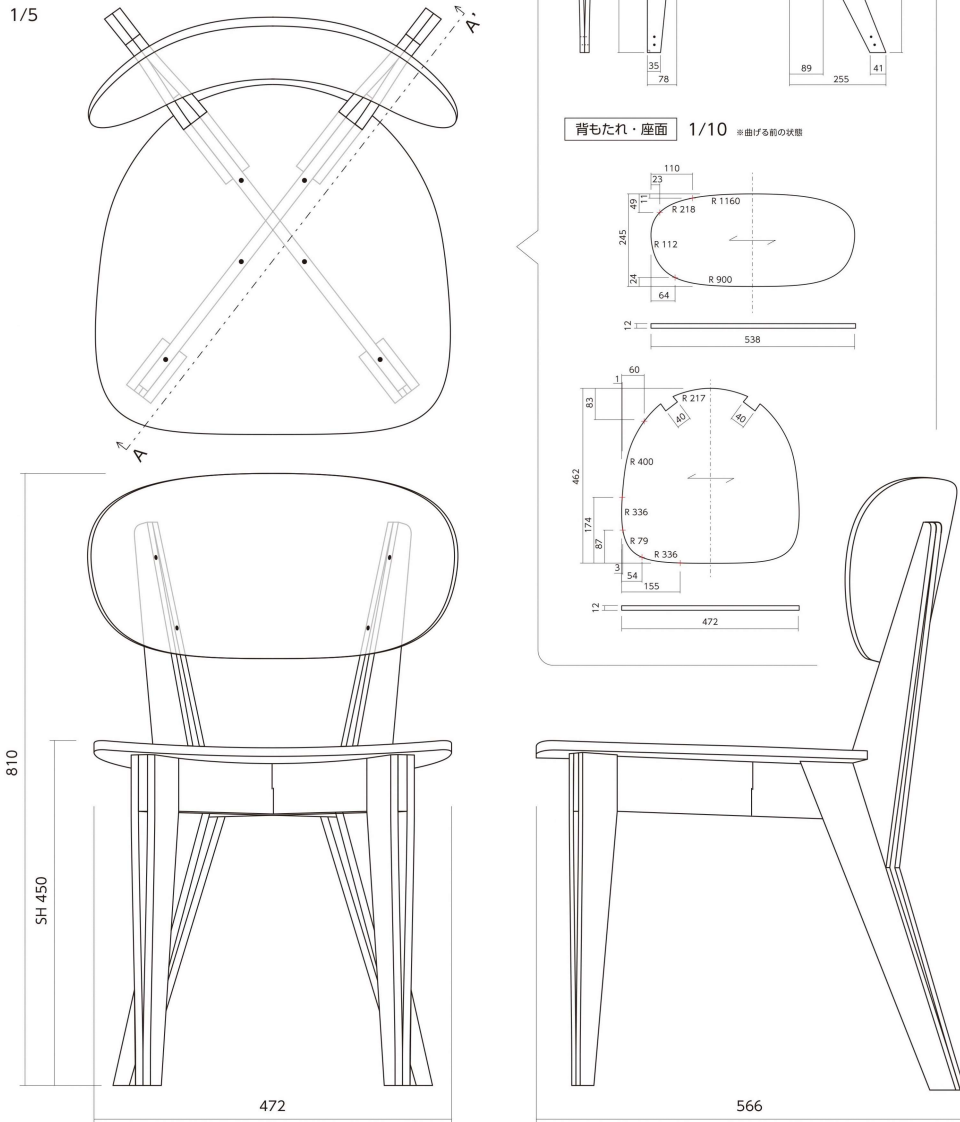


## 【構造説明】

スギ材の特徴である柔軟性を生かしながら少ない材料で安定した強度を持たせるため、幕板を板材2枚で挟んで木ネジで固定する「挟み脚構造」を用いています。簡単な組み立て方でありながらホゾ組みと同等の強度を確保でき、先に向かって絞ることで部材がより強く固定されて構造が安定します。また、幕板を厚さ15mm高さ約80mmのしっかりとしたサイズにすることで他に貫や補強板を必要とせず、軽量でスッキリとしたデザインを可能にしました。座面は幕板への固定によって自然とカーブを描きますが、背もたれはあらかじめ曲げ加工をします。素材は、京都府内産スギ板材。12・15mm(幕板のみ)の2種です。

## 【三面図】

1/5



# Tsui

「これからはじまる会話がきっと良い時間になる」  
そう思わせてくれる“つい”話したくなる椅子



「話をする」と一口に言っても、家族や友人や同僚などよく知っている人が相手の場合もありますが、知らない人と初めて話す場合もあります。また、楽しい会話もありますが、困っていることを相談したり、深刻な話をしたり、時には文句を直接言うためにその場を設けているかもしれません。どんな相手とどんな心境でどんな話をするのか…。そう考えたとき、椅子のデザインに求められるのは目新しいカタチではなく、同じ方向を向いて相手と話ができると感じさせてくれる安心感だと捉えました。



1つの相談カウンターに2脚配置で、椅子をしっかりと引いて座りながら椅子ごと前にずらす必要があるため、手の掛けやすさや、半分座った姿勢で椅子を持ち上げられる軽さが求められ、その両方を満たすことを前提条件としてデザインしました。

<設置イメージ>

「Tsui」は、多くの方が馴染みのあるシルエットで、丸みの座面や背の優しい形状で安心感を与えます。そして、話の場に来たときにはじめに見える椅子の背面のデザインを重視し、ここでの話が良い結果につながることを脚のデザインで伝えようと考えました。この椅子の特徴でもある「挟み脚構造」は、2つの対の板が絞られて先端が1つになります。2つが1つになる。話をしていく中で、打ち解けてお互いの距離が縮まったり、対立していた意見がまとまったりすることを話し始める前にイメージさせてくれます。この椅子に出会った方は、きっとその後の話が良い時間になると思って“つい”座ってしまうはず。